

令和7年度 府中市立四谷小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）
第5学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	①「読むこと」の学習において、叙述に即して内容を読み取ること。 ②言葉の意味や使い方を正しく理解すること。 ③5年生までに習った漢字を正しく使えること。	①叙述をもとに考え、論理的に読ませることで、書かれている内容の理解や作者や筆者の工夫に気付けるようにする。【発見・対話】 ②熟語や慣用句などの意味を調べる活動を意図的に組み込む。【発見】 ③授業冒頭の時間などを活用し、復習を重ねることで習熟度を高める【表現】	B	
算数	①分数の加減法の習熟を図ること。 ②伴って変わる2量について、変化の規則性を基にして図や式を用いて数学的に表現すること。 ③平面図形を組み合わせた場合の面積を、筋道立て求めること。	①分数を中心に、基本的な計算技能を高めるようにする。【表現】 ②伴って変わる2量について、変化や特徴を正しく捉え、筋道立てて考える表現する力を育てる。【発見・表現】 ③面積を求める公式を正しく理解させ、順序立てて考える学習活動を意図的に行うようにする。【決定・表現】	B	
理科	①問題解決の見通しをもちながら観察・実験を行うこと。 ②観察や実験の結果を、問題や予想などに照らし合わせて考察すること。 ③観察・実験で使用する器具の使い方を理解し、正しく扱うこと。	①単元を貫く学習問題づくりと、何を解決するための活動なのかを毎回意識させる。【決定】 ②問題、予想に立ち返りながら、考察の視点を確認する。【発見・表現・対話】 ③新出の器具や使い方だけでなく、既習の器具や使い方についてもその都度確認し、理解や技術の定着を図る。【決定】	B	
社会	①課題に応じて資料を読み取り、課題解決に活かすこと。 ②調べ学習において、資料の中から必要な箇所を取り出したり、選んだりすること。	①課題に対して、ICT 機器等を活用し資料から適切に情報を読み取れるようにする。【発見・表現】 ②図や写真、グラフなどの資料から分かることを児童同士交流させる。自分の考えの根拠として、適切な資料を見付けることができるようにする。【表現・決定・対話】	B	
音楽	①歌唱表現の技能を身に付けること。 ②楽曲を鑑賞し、感じたことを言葉で表現できる力を身に付けること。 ③互いに意見を交わし、自分の感じていることを伝えられること。	①自信をもって歌うことができるように、少ない人数で歌う機会を充実させる。身体の使い方を大切に基底的指導を繰り返し行う。【表現】 ②音楽を聴いて感じたことを表現する経験を積み重ね、単語の例を示し、語彙力を高めさせる。【表現】 ③ペアトーク・グループトークを促し、音楽に対して感じていることについて人に伝える活動を繰り返ししていく。【対話】	B	
図画工作	①材料や用具の基本的な扱いを身に付け、応用したり発展させたりして活動すること。 ②目標や表したいことを見付け、計画的に学習を進めたり調整したりすること。	①既習事項や経験に立ち返る時間を設定し、活用方法や組み合わせ方を工夫する視点を示す。【発見・対話・表現】 ②児童の興味関心から題材設定をしたり、用具や材料を選択できる場面を設定したりする。また、全体の流れや時間配分を確認し、見通しを立てる力、調整する力を養う。【決定】	B	
家庭	①裁縫において、基本的な技能に差があること。 ②調理実習などで、他者との協働する意識に差があること。 ③自分や家庭生活を見つめ、家族の一員としてできることを増やすこと。	①ICT 機器を活用し、ポイントとなる部分を繰り返し例示する。また活動の内容や手順を明確にする。【決定】 ②自主的に役割分担を決定する機会を増やすとともに、学習活動について振り返る時間を設け、自己有用感を高めるようにする。【発見・対話】 ③自分や家庭生活を振り返り、貢献できる機会を見出す学習活動を設けるようにする。【表現】	B	
体育	①運動の仕方を理解し、基本的な技能を身に付けること。	①ペアやグループでお互いの動きを見合ったり、ICT 機器を有効に活用したりして、自分の体の動きを見ることで、より正確な動きを身に付けられるようにする。【対話・発見・表現】	B	

令和7年度 府中市立四谷小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

	②自分に合った運動の課題やめあてをもち、運動方法を正しく選択できること。 ③毎時間の運動量に個人差があること。	②段階的に技能を習得できる場を設け、児童が自分に合った運動を選択できるようにする。 【決定・対話】 ③授業冒頭で基礎の感覚づくりの時間を設けたり、ゲーム的な運動を取り入れたりする。場づくりの工夫を行い、児童がそれぞれ自分に合った場所で運動を行えるようにする。【表現】		
外国語	① 語彙量・発話量を増やし、基本的な英語表現を理解すること。 ②基本的な英語表現を理解し、児童の語彙の量が向上すること。	①発話量を増やすためには、語彙の獲得が重要であり、語彙の獲得のためには、繰り返しの練習が必要であるため、デジタル教材用いて、繰り返し練習できるような教材を準備する。【発見・表現】 ②語彙の練習、復習を同じ流れで毎時間行い定着を図る。授業の初めを復習時間にあて、既習事項と本単元に関係する英語表現を確認する。 【対話・表現】	B	

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。